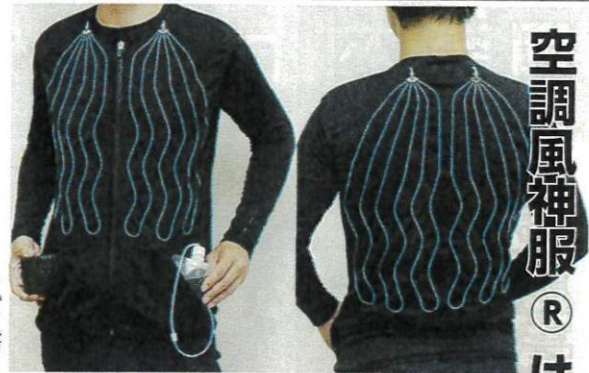


経済レポート 1809号

水冷ベストCFで19日まで販売

涼神服®(水冷シャツ)は、ウェア内に張り巡らせた中空糸膜のチューブから水を浸透させ、気化熱効果で体温を下げる仕組みで、2017年頃から開発を続けてきた。従来品は長袖で、内側にチューブを縫い付けて直接



空調風神服®

はシャープと協業

プラズマクラスターで消臭効果

ユニフォームやミネラルウォーター、電子機器・制御機器の開発製造、販売などを手掛ける(株)サンエス(福山市神辺町川南741-1、佐藤卓己社長、電084・963・1111)はこのほど、涼神服®(水冷シャツ)シリーズの改良版「水冷ベスト」を写真上を開発し、クラウドファンディング大手のMakeakeで売り出した。最大2割引きで購入できるのは6月19日(月)まで。また、シャープ(株)と協業して、プラズマクラスターデバイス付きの電動ファンを商品化した。写真下。

肌を濡らしていたが、今回はベストタイプを採用。表面にチューブを縫い付け、内側には撥水効果のある生地で体が濡れないよう工夫した。また、水を入れるパウチパックの容量を200mlと抑え、ポケットに収納することで着脱を容易にした。約2・8時間持続し、表面温度を5度から8度下げ(同社内での実験結果)ことから、着用者は汗をかくことが減り疲労軽減も期待できるという。

また、同社は03年からEF(電動ファン付き)ウェアに取り組んできたが、同ウェア内の汗の臭い対策についても研究を重ね、21年にシャープから打診があったことからプラズマクラスターとのコラボ商品が実現した。プラズマクラスターはシャープが開発した空気浄化技術で、高濃度のイオンを発生させることで衣服内汗臭の消臭効果が期待できるという。衣類に付いた汗ではなく、衣服内の汗臭そのものを浄化する仕組みを取り入れたEFウェアは業界初だという。

ファンは通常EFウェアの左右に2個付けるが、片方に同デバイスを付けるだけで効果があるという。空調風神服®のウェアであればどれも装着可能だが、電圧が24V仕様のためバッテリーも購入することが必要。風量はファン2個で最大72ℓ/秒(デバイスなし通常モデルはファン2個で83回)で、「強」運転で約5・5時間(ブースト(強)運転30分+「中」運転約5時間)、「弱」運転は約12時間、機能が持続する。ファンは2個セットで1万0800円(税別)、バッテリーは1万3500円(同)。

